

交運労協 FAX ニュースNO. 21

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル 3階 発行日 2013年9月10日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 交運労協 関 政治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

中部交運労協が名古屋駅周辺において

「新高速乗合バス移行後の実態調査」を実施！

FAXニュースNo.19、No.20で報告のとおり、中央交運労協では8月23日(金)～24日(土)に東京駅(鍛冶橋駐車場、八重洲口側)と新宿駅(新宿西口郵便局、新宿エルタワー前)、8月30日(金)～8月31日(土)には大阪駅・梅田駅、大阪駅桜橋口旧中央郵便局前、大阪駅桜橋口大弘ビル前、西梅田、梅田スカイビル、梅田プラザモータープールにおいて、「新高速乗合バス移行後の実態調査」が行われたが、今般、中部交運労協が名古屋駅周辺において実態調査を実施した。

中部交運労協では、9月6日(金)22時～7日(土)8時にかけて、「名古屋駅西口」および「名古屋南ささしまライブ前」において、「新高速乗合バス移行後の実態調査」を実施した。

本調査には、交通労連中部地方総支部、JR連合JR東海バスユニオン、私鉄総連名鉄労組・豊橋鉄道労組・知多乗合労組および中央交運労協の13人が参加し、新設されたバス停を中心に、運転者の2人乗務や停留所以外の場所での乗降、駐停車禁止区域内に停めていないかなどの確認を行った。



名古屋駅西口に新設された4カ所のバス停は、時刻表と屋根が備えられているものの、歩道が狭く待合所も設置されていないため、乗客は、200mほど離れた名古屋駅西口出口前の歩道を兼ねた多目的スペースに集合し、案内係によ

る受付後、出発時刻に合わせてバス停まで列を成して移動し、バスに乗車させていた。このため、東京行のバスが多く出発する 23 時前後から利用客が集中し、歩行スペースまで占領する状況も見られたが、警備員の配置はなく係員による誘導もなかった。



なお、多目的スペースからバス停までの道中では、車の出入り口のある場所などに警備員を配置し、バス停では係員がバスへの乗車案内を行うなど、安全対策はとられており、停留所以外での乗降も見受けられなかった。

一方、「名古屋南ささしまライブ前」バス停は、2本の乗り場と1本の降り場の3ヵ所が配置されており、歩道が広いため混乱する場面も見受けられず、警備員や誘導員の対応も良好であった。23時発の利用客（20代女性）に話を聞いたところ、「新宿駅に5時20分頃到着で都合がよく、また料金も安いので度々利用している」とのことであり、客層も若年者が大半を占める中、ほとんどのバスは満席であった。

「名古屋南ささしまライブ前」は、名古屋駅まで徒歩15分ほどかかる。東京方面より早朝に到着した乗客が、ディズニーランドの袋をかかえ疲れた足取りで駅に向かう行列が印象的だった。

以上の通り、全体的には新制度に基づきしっかりとした対応が取られていたが、中部交運労協では今後とも繁忙期を中心に定期的に調査を行っていくこととする。

【名古屋駅西口付近に新設されたバス停】



以上